

音楽サービス
創造学科
「楽典・編曲」

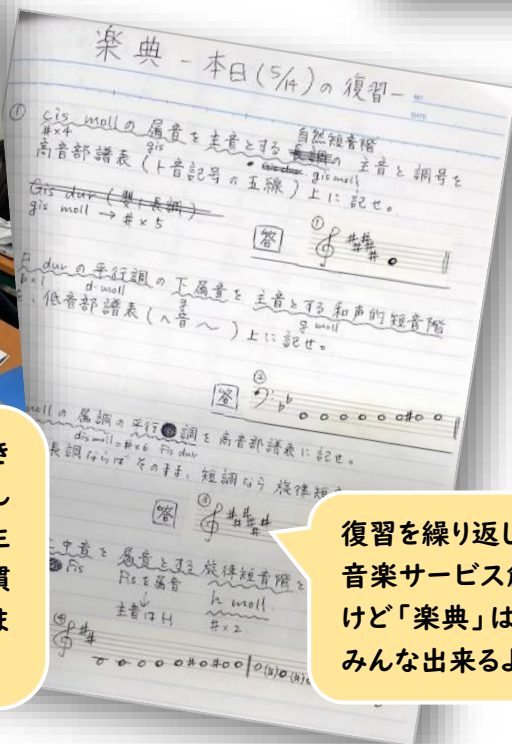
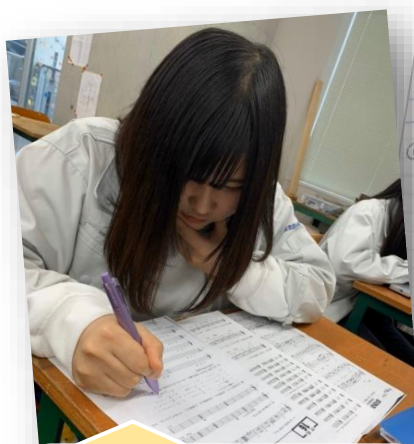
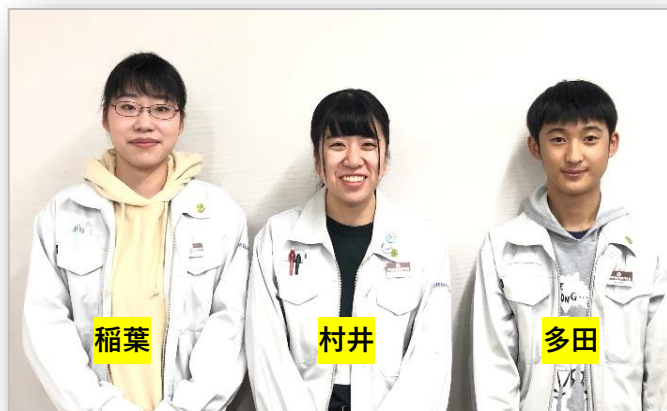
学生取材レポート

学生広報委員 稲葉汐里・多田春平・村井桜

音楽サービス創造学科

～音楽の学び～

音楽サービス創造学科では、楽器技術だけでなく、音楽について幅広く、体系的に学ぶことができます。今回は授業の一部である「楽典」「編曲」「演奏」について、ご紹介します！



はじめは、楽譜の読み方や書き方など、理論を学ぶので、難しく感じていました。けれど、先生が丁寧に教えてくれるので、慣れてくると音楽への理解が深まります！

復習を繰り返しながら、知識を定着させていきます。音楽サービス創造学科では、「タブ譜」は知ってるけど「楽典」は中学以来!!という学生もいますよ。みんな出来るようになります。

楽典

音符の種類や楽譜の読み方など、基礎的な理論を学びます。楽譜の読み方や書き方、楽譜の情報の読み取り方がわかりようになると、楽譜をより深く理解することができるようになり、音楽の表現の幅が広がります!

編曲

楽典で学んだ知識を使い、ピアノ用の楽譜を管楽器用の楽譜に書き換えるなど、曲や楽器の構成を変え楽譜を製作します。時間はかかりますが、完成したときの達成感はとても大きいです！

楽器ごとに音色や音域などが違うので、考えることは多いですが、学びも多いのでやりがいがあります。

グループで、5曲の課題曲から1曲を選び、PCやスマホなどを使って、編曲を行っていきます。



演奏

2人以上でアンサンブルを組んで、編曲した曲を発表します。より良い編曲になるように試行錯誤しながら練習をしています。



お互いにアドバイスし合うことで、自分のスキルアップもできます!また、みんなで編曲した曲なので、より演奏に力が入ります。

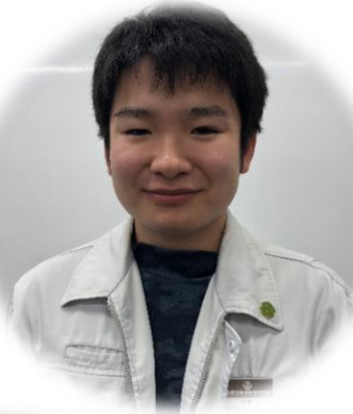


演奏活動は学内だけではなくありません。地域のお祭りや児童施設、老人ホーム、公共の施設など、さまざまな場所で活動しています!お客さまに「どのように楽しさを伝えようか」などを考えたり、楽器の構造や役割を詳しく理解したり、演奏者を支えていく技術者として学ぶことが多いです。

学生インタビュー

Q.楽典で苦労したことは?

A.小さい頃からピアノを理論ではなく感覚で弾いてきたので、理論を理解するのが難しく苦労しました。しかし、先生が基礎を1から教えてくれ、知らなかった音楽用語やルールを知れたことがよかったです。また、楽典が編曲にも活かされ、仲間と共に納得のいく譜面作りが出来ました。



3年生 若尾くん

趣味は、ピアノの弾くことと釣りをすることです。幼い頃からピアノを弾いていたので、ピアノ調律師に憧れています。

1年生 藤原くん

趣味は、ボーカロイド(ボカロ)と手先が器用なのでプラモデル作りです。

※ボーカロイド

ヤマハが開発した、リアルな歌声を合成するためのソフトウェア。



Q.編曲で楽しかったことは?

A.初めての楽器もあり、音域がわからず何度も演奏できるクラスメイトに確認しました。そうしていくうちに、自分の頭の中にあった曲のイメージが目に見えて形になるのがわかり、とても楽しさを感じました。

